

講師の略歴等

北海道大学大学院工学研究院 教授
越澤 明 氏

- 1952 年生まれ。
- 1976 年東京大学工学部都市工学科卒業。1978 年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻修士課程修了。1982 年 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。1998 年より現職。専門は都市計画、都市政策、住宅政策。
- 1989 年に後藤新平の帝都復興計画原図を 66 年ぶりに発見したことで知られ、東京の都市計画、震災・大火など大災害の復興計画に関する研究の第一人者である。
- 2001 年～2011 年、国土交通省の社会資本整備審議会委員、住宅宅地分科会長、都市計画・歴史的風土分科会長などに就任し、国の住宅政策、都市計画、古都保存行政に関する審議会長を務めた。

(主な著書等)

- 『東京の都市計画』(岩波新書 1991 年)、『東京都市計画物語』(日本経済評論社 1991 年→ちくま学芸文庫 2001 年)は 20 年前の出版以来、東京の都市形成、帝都復興、まちづくりの歴史、後藤新平の研究に関する基本図書として、今なお広く読み続けられている。
- 『後藤新平 大震災と帝都復興』(ちくま新書 2011 年)など、主な著書は新書、文庫で刊行されている。

気仙沼市 危機管理監
佐藤 健一 氏

- 1953 年生まれ。
- 1976 年 3 月東海大学海洋学部海洋土木工学科卒業。民間建設会社を経て、77 年 4 月に気仙沼市役所奉職。産業部水産課、建設部開発対策課、秘書広報室、総務部総務課危機管理室、総務部危機管理課を経て、本年 10 月から現職。
- 1991 年 3 月に遠隔監視型の「潮位・津波観測システム」を自主開発(製作)・設置、水産庁「漁業地域防災対策検討委員会」委員、国土交通省「沿岸部と背後地の連携による総合的な津波災害軽減方策検討委員会」委員、「漁業地域の減災モデリング検討委員会」委員等を歴任し、現在、国土交通省東北整備局「東北における津波防災情報連絡協議会」委員等を務める。
- 水産課時代の 22 年間では、漁港・海岸施設等の計画・建設のハード対策を担当し、近年では危機管理面でのソフト対策、特に、住民の災害時のイメージづくりを中心に地域の防災力の向上を目指した施策展開を図る。
- 震災以降、災害対策本部を中心とする災害対応に従事している。